

元請企業のベトナム進出に 刺激を受け進出を計画

有限会社プレシャス

優秀な人材を確保できるベトナムへ

有限会社プレシャスは建築金物、家具金物、装飾用金物建具及び室内装飾品の企画・設計を主たる事業内容とし、とりわけ、ユニットトイレ製品の部品図面を作成する事に特化した技術を保有している。

当社は、国内の大手メーカーからの仕事が大半のため、海外進出などは殆ど考える事は無かったが、ソフト関係の仕事充実・拡大を図ろうとすると、国内ではコストに占める賃金割合が高いので、限界を感じていた。

ベトナムへの進出は、元請企業との繋がりは直接関係無かった。ベトナムに進出した元請企業から聞く現地、ベトナムの状況に加え、ハノイ工科大学出身のベトナム人の友人等知己も多くいたことで、もし、業務の拡大を図るなら、優秀な人材が確保出来るベトナムではないかと、当社は常々考えていた。そんな折、中小企業基盤整備機構（中小機構）のホームページで国際化支援アドバイス制度を知り、2005年10月、東京の虎ノ門にある中小機構を初めて訪問した。

ベトナム人の勤勉さが進出を決意したポイント

日本の会社を設立してから未だ一年余りの状況だった



ソフト開発を行うベトナム人従業員

が、中小機構の現地同行アドバイス制度を利用し、2006年1月に中小機構の経営支援専門員と共にベトナムを訪問した。この経営支援専門員が精神的にも強く支援した結果、海外投資の決意を固めた。そして、奥様が日本人で、日本語も流暢に話し、会社設立手続き等にも詳しいベトナム人の現地登録アドバイザーから様々な角度から助言を受けた。

中小企業の経営者の方々が海外進出時に悩まれる様に、当社も日本での仕事を消化しながらの現地調査及び会社設立での費用も嵩み、苦しい思いもした。しかし、上述のベトナム人現地アドバイザーの応援を得て、事務所の賃貸契約、従業員の採用、会社設立等、様々な手続きをスムーズに解決し、2006年7月には会社の設立登記が完了、行動開始から半年余りのスピードで実現した。

反日感情が殆ど無く、日本人には極めて友好的であり、ベトナム人の友達も居たのも大きな要素であったが、彼らを通じて勤勉な国民である事が良く理解出来た事が進出への大きなポイントになった。

大幅なコストダウンで事業経営は安定

当社から工業団地には進出せずに、ハノイ市郊外の一棟立てを借り切り、住居兼事務所兼作業場として使用していたが、当初の事務所は値上がりのため転居し、今の事務

【日本本社】

所在地 神奈川県茅ヶ崎市
代表者名 相馬 寿
業 種 設計業
事業内容 建築金物、家具金物、装飾用金物建具及び室内装飾品の企画、設計
商品内容 ユニットトイレ製品の部品図面
創業年 2004年
従業員数 3名
資本金 300万円
年間売上高 4,000万円（2010年）

【海外現地法人】

企業名 PRECIOUS VIETNAM CO.,LTD
所在地 ベトナム社会主義共和国
地 域 ハノイ
事業内容 CADによる金物、建具、室内装飾品、家具等の設計（製品は100%輸出用）
創業年 2006年
従業員数 13名
資本金 3万USD
投資形態 独資
年間売上高 13.5万USD

<2010年8月現在>



現事務所外観



2F CAD室

所は二代目である。設備を必要としないソフト関係の会社であるが、イニシャルコストは発生する。しかし、人件費を含めたランニングコストと共に、コストは非常に低く抑えられている。

現在、日本で行っていた業務のほぼ100%をベトナムに移管し、大幅なコストダウンが図れている。新たにソフトの支援を必要とされる日本の企業の受け皿になるのも一つのビジネスと捉えており、ソフト関連の問い合わせは大歓迎と、次のステップを現在企画中で、現地アドバイザーから引き続きアドバイスを受けている。

ちなみに、現地の料理は美味しく、野菜中心なので、健康状態も常に良好である。更に、衣食住の費用が安くて、悪質な犯罪が極めて少ないのも、日常生活では大いに助かっている。一方、交通渋滞が多くなってきており、交通ルール欠如の為の事故が多発しているため、従業員を含め、交通事故に対する不安が大きい。ソフト会社としてはインターネット通信が生命線だが、突発的な停電に不安を覚えると共にその費用が高い（月額18万円）のが悩みの種であったが、今は月間100ドルと大幅にコストダウンした。

水不足で週に一度の計画停電は有るが、大きな影響は無く、安定した事業経営を行っている。

《経営支援専門員 中村大二郎》

専門員の視点

中小企業の海外進出は、元請企業の海外進出と歩調を合わせて進出されるケースが大半であったが、プレシャスは全量日本国内で受注出来るので、全く海外に出る必要は無いにもかかわらず、エンジニア不足に対応すべく、早い決断でベトナムに進出された。設備投資を伴う進出はリスクも高いが、ソフトでの進出はその点が軽減される上、ソフト開発を行う優秀な人材を採用するため、必然的にマネジメント能力を保有する人材が集まることも有利な点である。この為に、製造会社で設計等の部隊を先行させ、簡単な事務所を開設する会社も増加傾向にある。